

Orockey

小祿高等学校 R6 4/13
校長便り VOL.1
発行人：校長 名幸 哲



入学おめでとう & 進級おめでとう

去った4月8日(月)、本校体育館において、始業式と入学式が行われました。今年1年、ここ小祿高校で、皆さんと一緒に過ごせることに心から感謝し、幸せを感じている今日この頃です。さて、新学期が始まるにあたり、皆さんにお伝えしたいことがあります。始業式で話したと被るところもあるかと思いますが、今年度もおつきあい宜しくお願いします。(*^▽^*)

Congratulations!



生徒会長の大城璃音君

今年も⇒清らかな心と凜とした態度で未来の夢を語れ!

私は昨年度初めに清らかな心と凜とした態度を持って学校生活を送って欲しいと皆さんにお願いしました。そして1年間、皆さんと接してきて、「清らかな心」を持っている生徒が数多くいることに驚きました。仲間のために休みの日にも応援をしに来てくれる君たち。先生方が困っている時、何度も手助けをしてくれる君たち。気持ちよい良い挨拶をしてくれる君達何よりも何事にも“一生懸命”な君たち。そんな君たちを見ていると、私が掲げたフレーズとぴったりと一致している気がしてなりません。1年生が入学し、その1年生も2, 3年生と同じ素敵な「小祿色」へと変わっていくことでしょう。さあ!今年度も「祿高プライド」を胸に、一日一日を凜々しく、前を向いて進んでいって欲しいと願っています😊



一歩一歩登った階段のてっぺんには・・・

皆さんは自分がたてた目標を 今見上げて座っています。長い階段の下から見える目標（お寺みたいなものとしましょう）を見上げています。「あ～長いこの階段。面倒くさいな～」なんて思っています。でも、この階段一歩踏み出さないと上までいけません。毎日地道に登っていくしか方法はないんです。どんなに大きな業績をあげた人たちでも最初はちっぽけなところから始めているんです。みなさんが使っている iPhone を作っているマッキントッシュいわゆるアップルの創始者スティーブジョブズは「ガレージ」でアップルをたちあげました。松下電器の創始者松下幸之助は裸電球のソケットを発明し自転車に乗せて、一軒一軒の家を周り今のパナソニックを立ち上げました。みんな最初はそんなものなんです。そしてそこには「私だってできる」という気持ちを持つことが大切です。あなたの考えている限界はあなた自身が決めた限界なんです。てっぺんに着いたらどんな景色が見えますか?きっとそれは言葉では言い表せない素晴らしい景色だと思います。



ROKKO PRIDE

